

各位

会社名 日本パレットプール株式会社
 代表者名 代表取締役社長 有田 栄一
 (コード番号: 4690)
 問合せ先 財務部長 曾我 智樹
 (TEL. 06-6373-3231)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、営業・支出両面に亘る業績改善施策を実施し、併せて特別損失を計上した結果、平成28年11月7日付の「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました平成29年3月期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,330	百万円 60	百万円 160	百万円 91	円 銭 10.93
今回修正予想(B)	6,335	80	186	50	6.05
増減額(B-A)	4	20	25	△41	—
増減率	0.1%	34.0%	16.0%	△44.7%	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	6,550	137	342	200	23.84

2. 修正の理由

当社の主要顧客である石油化学樹脂関連企業向けのパレットレンタル需要が回復せず、通期の売上高は6,335百万円(前回発表予想比0.1%増)の微増に留まりましたが、パレット運用面の効率化等の改善施策に取り組んだことにより、営業利益は80百万円(前回発表予想比34.0%増)、経常利益は186百万円(前回発表予想比16.0%増)となる見込みであります。

一方、下記の3に記載のとおり、和解金84百万円を特別損失に計上したことにより、当期純利益は50百万円(前回発表予想比44.7%減)となる見込みであります。

3. 特別損失の計上について

当社は、平成29年3月に石油化学樹脂関連企業に対し、パレットプールシステムの遂行に関する和解金として84百万円を支払い、これを特別損失に計上いたしました。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上